

文化・芸術



「街」

1938年8月、油彩、板
131.0cm×163.0cm

(大川美術館蔵)

松本竣介 (1912〜48年)

特集展示「松本竣介—
人のかたち、街のすがた」から

パリに憧れを抱きながら、生涯その地を踏むことのなかった松本竣介。竣介が描いた「人」と「街」には、独特な奥行きとリズムが漂っています。本作に代表されるように、1930年代後半には街と建物、そこに往来する人々を重層的に描いた都会風景の連作に取り組み、やがて戦時下には、東京の街路とともに自身を含む人物像へと、新たな模索を始めました。

(小此木)